NSW 州保健省

水痘（みずぼうそう）ワクチン接種

保護者向け資料

オーストラリア政府は、全国予防接種プログラム（NIP）の下で、一部のワクチンを無料で提供しています。

Q. 水痘とは何ですか？

水痘は、水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる非常に感染力の強い病気です。一般的に、健康な子供の場合、以下のような軽度の症状が起こります。

- **軽い発熱**
- **鼻水**
- **体調不良**
- **発疹が水ぶくれになる**

水痘は、大人や免疫力が低下している人において、より重症化する可能性があります。まれに、次のような症状を引き起こすことがあります。

- **筋肉の動きの喪失（4,000 件に 1 件の割合）**
- **脳の炎症（10 万件に 1 件の割合）**

妊婦が水痘にかかると、赤ちゃんが早産となったり、瘢痕や四肢の問題などの先天性異常を持って生まれる可能性があります。

Q. 水痘にはどのように感染しますか？

- **病気の初期段階では、水痘は咳によって感染します。**
- **その後、水ぶくれから出た液体との接触によって広がります。**

水痘にかかっている人は、次の期間にウイルスを広める可能性があります。

- **発疹が現れる 1 ～ 2 日前（鼻水が出る段階）**
- **発疹が現れてから最大 5 日間（水ぶくれがかさぶたになるまで）**

Q. ワクチンはどのように作用しますか？

ワクチンは、免疫系が感染症と戦うのを助けます。予防接種を受けた人がこれらの感染症に接触した場合、免疫系がより効果的に対処できるため、その発症を予防したり、症状を軽減することができます。

Q. 水痘のワクチンの効果はどの程度ですか？

ワクチンを 1 回接種することで、水痘を 80 ～ 85%の確率で予防でき、重症化に対して非常に効果的です。

Q. 誰がこのワクチン接種を受けるべきですか？

- **14 歳以下の子供は、すでにワクチン接種を受けている（通常は 18 ヶ月で接種）か、水痘にかかったことがある場合を除いて、水痘のワクチンを 1 回接種する必要があります。**
- **14 歳以上の子供は、 1 ～ 2 か月の間隔で 2 回接種する必要があります。**

Q. このワクチン接種を受けるべきでないのは、どのような人ですか？

次に該当する人には、ワクチンを投与しないでください。

- **以前にこのワクチンを接種した時、または、このワクチンの成分に対して、重度のアレルギー反応（アナフィラキシー）を起こしたことがある**
- **妊娠している（ワクチン接種後 28 日間は妊娠を避けてください）**
- **過去 12 か月の間に、輸血や免疫グロブリン注射を受けている**
- **過去 4 週間の間に、生ワクチンの接種を受けている (例：MMR、BCG、または黄熱病)**
- **次のような理由で免疫力が低下している**
  - HIV 感染者・AIDS 患者
  - 化学療法や放射線治療を受けている、または高用量のコルチコステロイドを服用している
  - リンパ腫や白血病のような重度の免疫障害を抱えている

Q. アナフィラキシーとは何ですか？

アナフィラキシーは非常にまれですが、重度のアレルギー反応です。素早く対処しなければ、意識を失ったり、死に至る場合もあります。ワクチン接種を行う医療従事者は、アナフィラキシーに対処するための訓練を受けています。

Q. 子供が水痘にかかったか、またワクチンを受けたかどうか分からない場合は、どうすればいいですか？

もし確信が持てない場合でも、お子さんは安全に水痘のワクチンを接種することができます。

Q. 水痘ワクチンには何が含まれていますか？

このワクチンには以下が微量含まれています。

- **スクロース、ゼラチン、尿素、グルタミン酸ナトリウム**
- **MRC-5 細胞の成分（ワクチン製造に使用される）**
- **微量のネオマイシンおよびウシ血清**

これらの成分は、ワクチンの作用促進や保存剤としての役割を果たします。製造工程において、牛由来の材料も使用されています。

Q. ワクチンはどれくらい安全ですか？

オーストラリアのワクチンは非常に安全です。薬品・医薬品行政局（TGA）から承認を得る前に、安全性に関する厳しい検査を通過する必要があります。使用開始後も、TGA がワクチンの安全性を監視しています。

Q. 水痘ワクチンにはどのような副反応がありますか？

副反応は通常軽度で、次のような症状が現れる可能性があります。

- **接種部位の赤み、痛み、腫れ**
- **発熱**

重篤な副反応は非常にまれです。詳細については、health.nsw.gov.au/schoolvaccination で消費者医薬品情報（CMI）をご確認ください。副反応について心配な場合は、かかりつけの医師にご相談ください。